



# セチュラの風だより



2020年3月 第12号

## アマゾン・イキトス部会!



西島 将 (Nishijima Tadashi)

三寒四温の言葉どおり、冬が行きつ戻りつしている時期ですが、いかががお過ごしでしょうか？

今回は、環境教育部会でイキトスにて実施した研修について報告します。環境教育部会の9名で、環境教育授業と衛生埋立地の見学、ワークショップの2日間の研修を行いました。部員同士でのオンライン会議では、公務員で培ったファシリテーションの知識と経験が役立ちました。研修会で、「ペルーの希少動物の違法輸出の問題」を知り、来年の授業でこの問題をセチュラの生徒達にも教えていきます。



衛生埋立地見学

民間環境保存団体(アマゾンフォーエバー)訪問では、小中学生向けの環境教育プログラムを生徒達と体験しました。いつも授業を行う立場なので、生徒達と森で共に学ぶ経験は貴重でした。今後、セチュラの授業でも近隣の川に行き、教えていきたいです。

衛生埋立地見学では、職員の方からアマゾンのごみの回収について学ぶ事が出来ました。



授業見学



アマゾンフォーエバー

## ペルーの誕生日会について

ペルーで働き約1年が経ちます、毎月読んで頂きありがとうございます。今回はペルーの誕生日会について紹介します。特徴的なのは主催者が、友人や家族を招待し食事やケーキも自己負担で準備します。

ペルーの人達は、1年間誕生日のためにお金を貯めて、豪華にお祝いします。例えば、ピエロを呼びマジック会をしたり、バスを1台借り映画館に映画を見に行ったりします。

私も、現地の家族達と職場で同僚達にお祝いしてもらい賑やかな30歳を迎えました。当日は、浴衣を着て書道でそれぞれの参加者の名前を書きプレゼントしました。

